

公開版

## 平成28年度 教育委員会 第14回定例会 議案

1 日 時 平成28年10月24日（月） 午後2時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第29号議案 平成29年度教職員人事異動方針

…非

<非>第30号議案 平成28年度静岡県教育委員会表彰被表彰者の決定

…非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

静岡県教育委員会

第14回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
配付 報告	平成 28 年度第 2 回学力向上推進協議会	1
1	<非>平成 27 年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に 関する調査」	非

平成 28 年度第 2 回学力向上推進協議会

(義務教育課)

1 事業の目的

学識経験者と研究推進地区教育委員会、研究推進校及び県教育委員会が一堂に会して、本県の学力について成果や課題を検証し、学力向上のための施策を協議、検討する。

2 日時

平成 28 年 10 月 6 日 (木) 午後 1 時 30 分から 4 時 00 分まで

3 参加者

- (1) 学識経験者 (2 人)
- (2) 研究推進地区 (伊豆市、湖西市) 教育委員会指導主事 (2 人)
- (3) 研究推進校長 (2 人)
- (4) 県教育委員会義務教育課長、人事監、総合教育センター総合支援課長、静岡・静岡教育事務所地域支援課総括指導主事 (5 人)
- (5) 政令市指導主事、義務教育課指導主事等 (7 人)

4 内容

- (1) 研究推進地区、推進校、各課取組の経過報告
- (2) 協議議題「平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果の検証と今後の取組」

5 主な意見

- (1) 研究推進校から
  - ・ 市統一の問題や Q-U 調査を活用し、子どもたちの実態把握を丁寧に行っている。授業改善に向けての校内研修は、学習形態の工夫、協働的な学びの工夫、発問・支援の工夫を柱に進めている。
  - ・ 全国学力・学習状況調査の自校での採点と分析、児童へのアンケート調査等を通して子どもの実態把握に努めている。国語科を窓口教科にして授業づくりプランを作成し、授業改善に向けた校内研修を進めている。国語科の授業と読書や家庭学習とのつながりも大切に指導している
- (2) 研究推進地区から
  - ・ 本年度の全国学力・学習状況調査結果については改善傾向が見られる。しかし、子どもたちの国語科の学習に対する意欲の点においては課題がある。分析結果を各学校の校内研修や授業改善につなげられるよう定期訪問等を通してじっくり取り組んでいきたい。
  - ・ 市独自の早期対応策への取組等により、基礎的な学力の向上が見られる。しかし、子どもたちの主体性や活用の力を育てるといった点においては、さらなる授業改善が必要である。地域支援課と連携した研修主任研修会、社会教育課、幼児教育課との連携事業を推進していく。
- (3) 協議から
  - ・ 本県の経年的な課題である子どもたちの国語の学習に対する意欲については、各市町、各学校の実態を押さえた上で、授業改善を基軸とした取組が必要となる。
  - ・ 国語科の授業に対する教員の苦手意識や迷いも見られるのではないかと。特に若手教員の国語科の授業力の育成のためには、研修体制を充実させることが必要である。
  - ・ 県が教師用指導資料や動画コンテンツ、学力向上推進協議会報告書等で示した授業改善のポイントを総合教育センター、地域支援課、市町教育委員会が連携を図りながら共有し、学校訪問や経年研修に生かしていきたい。また、本県が構築した全国学力・学習状況調査を活用した学力向上 PDCA サイクルの定着を図りたい。

6 今後の予定

- (1) 第 3 回学力向上推進協議会  
平成 28 年 11 月 28 日 (月)  
「学力向上推進協議会報告書」の内容 (今年度の学力向上に向けた取組の成果と課題等) について協議
- (1) 第 2 回学力向上連絡協議会  
平成 28 年 12 月 16 日 (金)  
県内全体で、小中学校の学力、授業改善の現状等について情報を共有し、より有効な学校支援の在り方について協議